

2011年3月7日
奈良県
イオン株式会社

奈良県とイオン株式会社との包括提携協定について

奈良県（知事：荒井 正吾）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田 元也）は、本日、包括提携協定を締結しますのでご案内申し上げます。

この度の協定の目的は、奈良県とイオンの双方が持つ資源を有効に活用し奈良県の一層の活性化と県民サービスの向上に協働して取り組むことです。

本協定により、奈良県とイオンは、電子マネー「WAON」の活用や地産地消・県産品の販路拡大、環境保全、観光振興など13項目について両方で協力してさまざまな取り組みをすすめてまいります。

本協定の取り組みの第一弾として、「古都ならWAON」を4月下旬より発行いたします。このカードがイオンの店舗をはじめファミリーマートやマクドナルド、吉野家など全国102,500箇所の「WAON」加盟店で利用された金額の一部を「奈良県地域貢献サポート基金」に寄付し、奈良の文化遺産やまちなみ保全などに役立てていただきます。

この度の協定を機に、奈良県とイオンは、これまで以上に協力して国内外のイオンのショッピングセンター等において奈良県の特産品の販売や観光PRなどに取り組んでまいります。

記

【本協定の概要】

- (1) ICカード等の活用に関する事
- (2) 地産地消の推進、県産品の販売促進に関する事
- (3) 観光の振興に関する事
- (4) 災害対策、防災、防犯および交通安全に関する事
- (5) 県民の健康増進および食育に関する事
- (6) 高齢者・障がい者の支援に関する事
- (7) 子育て支援および青少年の健全育成に関する事
- (8) 環境対策に関する事
- (9) 教育・文化の推進に関する事
- (10) 県南部の振興に関する事
- (11) 県政情報PR・発信に関する事
- (12) 全国育樹祭に関する事
- (13) その他地域の活性化および県民サービスの向上に関する事

【「古都ならWAON」の概要】

発行開始：2011年4月下旬

カード販売場所：西日本エリアを中心とした「AEON（イオン）」約100店舗で販売をスタートし、その後順次拡大予定

3月1日（火）にジャスコとサティの店名は「AEON（イオン）」に統一し、よりお客さまにご満足いただける、地域に密着した店舗を目指し新しいスタートを切りました。

カード販売目標：初年度5万枚

発行手数料：1枚300円（税込み）

チャージ可能金額：上限5万円（一回あたりのチャージ金額は2万9千円です）

「古都ならWAON」カードデザイン



【ご参考】

「WAON」の発行枚数等（2011年1月末現在）

累計発行枚数：約1,810万枚

月間利用件数：約4,500万件

月間利用単価：約1,770円

利用可能箇所：約102,500箇所（自販機、ドライブ-端末約53,300箇所含む）